



講師の藤森さん⑤の体験談を聞き入る葛巻中の生徒

働く大切さを学ぶ 1学年ライフ講座

葛巻中学校第1学年ライフ講座は7月3日と4日、同校で行われ、18人が受講しました。4日は自営業、酪農業、公務員の3つの分野に分かれ、仕事や町で働くことなどについての考えを学びました。仕事で大切なものについて、藤森牧場を経営する藤森康隆さん（浦子内）は「やる気と効率よく時間を使うことを意識するのは仕事でも勉強でも大切です」と自身の経験を振り返りながらアドバイスしました。生徒たちは講師の分かりやすい講話にメモを取りながら耳を傾けていました。

熱戦の末初の第3位 町長杯サッカーU15

町サッカー協会（城内誠一会長）主催の第10回町長杯U-15サッカー大会は町総合運動公園で7月6日と7日の2日間開催され、近隣市町から葛巻中学校を含む6チーム約100人の選手たちが出場しました。

1日目は暑い日差しが照り付ける中、2日目は雨が降る中での戦いとなりましたが、選手たちは懸命にボールを追いかけ、気迫溢れるプレーを見せていました。熱戦の結果、長内中学校が優勝。葛巻中学校はチーム一丸となって戦い抜き、本大会初となる第3位となりました。



ボールを死守しながら攻め込む葛巻中の選手⑥



橋本さん⑥の話に熱心に聞く小屋瀬小の5年生

小屋瀬小防災講座 防災の意識を育む

6月21日、小屋瀬小学校の防災講座がくずま～るで行われ、5年生6人が参加しました。講師は総務課防災対策専門員の橋本明さんが務め、消防機関での自身の経験談を交えながら、過去に町で発生した災害や町が持つ防災機能について説明しました。児童から、防災に必要なことは何かを問われた橋本さんは「皆さんの幸せのためには、まず自分の命は自分で守るといった強い防災意識を持つことが大切です」と日頃から防災意識を持って行動する大切さについて話しました。

社会を明るくする運動 安心安全な社会実現へ

6月22日、第41回青少年健全育成ミニサッカー大会が行われた町総合運動公園で「社会を明るくする運動・人権擁護啓発活動」が行われ、保護司と更生保護女性の会および人権擁護委員ら関係者13人が活動しました。

関係者の皆さんは、大会に参加する親子に啓発グッズを配り、犯罪や差別のない安全な社会の実現を呼び掛けました。辰柳敬一さん（栗山）は「多くの方々が安全な社会の実現に向けて行動できるよう、これからも啓発活動を続けていきたい」と活動の継続に意欲を見せました。



啓発グッズを配布し安全な社会の実現を呼び掛ける関係者⑦



リュックを身に着けて妊婦の大変さを体験する子どもたち

生命の大切さを実感 小6いのちの学習会

町学校保健会（千葉竜也会長）主催のくずまき小6いのちの学習会は7月8日、葛巻小学校で行われ、町内各小学校の6年生22人が参加しました。

町の保健師や看護師、助産師が講師を務め、いのちの実感などをテーマに講義が行われ、妊婦体験では約6キログラムのリュックを身に着けて、実際に生活で行われている動作を体験しました。木下煌大さん（五日市小6年）は「妊婦体験で妊婦の人の大変さを実感しました」と話し、命の重みについて深く学んだ様子でした。



鈴木町長（手前）から交付金を受け取る細野さん

補助金・奨励金交付式 生活を手厚くサポート

住宅取得補助金、定住奨励金および新婚ライフサポート金交付式が6月24日にくずま～るで行われ、三浦誠希さん（小屋瀬）、細野清将さん（野中）、中村敦さん（四日市）に鈴木重男町長から交付金が手渡されました。

鈴木町長は「住みよい町となるよう手厚い支援を続けている。そのような情報を各所にどんどん発信してもらいたい」とあいさつ。交付を受けた細野さんは「自然が豊富な町で、安心して暮らせるよう交付金を有効に使いたい」と笑顔で話しました。